

## 1月17日は防災とボランティアの日

## 1月15日～21日は防災とボランティア週間です

「防災とボランティアの日」・「防災とボランティア週間」は、平成7年1月17日に発生した阪神・淡路大震災において、災害時のボランティア活動および住民の自発的な防災活動についての重要性が広く認識されたことを受けて創設されました。

## 普段から防災活動に参加するにはどうしたら良いの？

「自分たちの街は自分たちで守る」ためには、いざというときに協力してすばやく行動できる体制づくりが必要です。地域での自主的な防災活動を担う自主防災組織に参加してみたいはかがでしょうか。市内の自主防災組織は、ほとんどの場合、町内会や自治会単位で構成され、防災知識の普及活動や防災訓練などを行っています。



## 「みえの防災奨励賞」受賞！ 安楽島子ども会

安楽島子ども会では、平成17年から毎年、子どもたち自らが実際に町を歩き、避難路を確認したり、町の人に聞き取り調査を行って、気付いたことや感じたことを書き込んで防災マップを作成しています。活動は子どもだけにとどまらず、周囲の大人を巻き込みながら取り組んでおり、地域ぐるみの安全・安心活動につながっています。こういった地道な活動が評価され、三重県知事から平成25年度「みえの防災奨励賞」を受賞しました。



明けましておめでとうございませう。今年も、あそびの広場『だっこ』でたくさんのかたが出会い、子どもたちが元気に楽しんで過ごせるようお手伝いさせていただきますと思っています。

『だっこ』へたくさんの親子が遊びに来てくださる中で、親子のかかわり・触れ合いの大切さを深々と感じております。近年「育メン」や「家事男」といった言葉をよく耳にするようになり、育児や家事に積極的に参加されているパパもよく見かけるようになりました。

しかし、そんなパパの頑張りも虚しく、「パパになつかない」「パパが抱っこすると泣くの」といった声もよく聞きます。話をよく聞いてみると、パパのかかわりと子どもが求めているかかわりに食い違いがあることが多いように

思います。例えば、1歳ころになつてつかまり立ちができるようになり、自分で立つことを楽しんでいのに、可愛さから抱っこすると、子どもは嫌がり泣き出します。パパが嫌いな訳ではなく、パパになつかない訳でもないのですが、この様子は周りから見るとパパを嫌がっているように見えるかもしれませんね。大人からの一方的なかかわりではなく、子どもの成長や要求にあったかかわりが大切です。

子育て支援センターでは、パパにも参加していただける子育て講座も開催していますので、利用していただき、子どもへの理解を深めていただければと思います。今年もみんなで子育てを楽しみましょう。



総務課防災危機管理室 ☎ 1118

一人一人が備えてこ！

防災力UP！鳥羽

vol.8

Vol.28

「子育てを楽しむために」

みんなで子育て

だっこでほっと

子育て支援センター ☎ 25 7221